

平成30年度予算

アナ： 「市長が語る 2018 三島」第1回となります本日は、平成30年度予算について、お話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いいたします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 平成30年度の予算のうち、福祉や教育など、市役所の基本的な業務に関わる一般会計当初予算は346億円と伺っています。

では、予算を編成する上での基本的な方針はどういったものだったのでしょうか。

市長： まず1つ目に、「ガーデンシティを活かした都市基盤整備による賑わうまちづくりと活力みなぎる産業の創造」、2つ目に「スマートウエルネスで育む健幸なくらしの実現と夢が高まり未来へ翔（はば）たく教育・文化の推進」、そして最後に「コミュニティで創る誰にも優しい安全・安心なまちづくりと笑顔あふれる子育て・福祉の充実」という3つの基本方針を掲げました。

アナ： この3つの基本方針にはそれぞれどのような事業が予定されているのか、主なものを教えていただきたいのですが、まず1つ目の柱「ガーデンシティを活かした都市基盤整備による賑わうまちづくりと活力みなぎる産業の創造」について、教えていただけますか。

市長： 第一の柱では、まず、三島駅南口の再開発として、西街区に整備を進めております立体自転車等駐車場が、本年10月に供用開始となりますほか、東街区につきましては、地下水の保全に十分配慮する中で、来月5月に協定締結を予定しております事業協力者と、事業化に向けた本格的な検討に入っております。

また、「内陸のフロンティアを拓く取組」といたしまして、三島総合病院西側の土地を活用して、医療・健康関連企業の誘致を視野に入れたアクセス道路などを整備いたしますほか、本年秋に造成工事が完了し、新たな産業拠点となります三ツ谷工業団地では、全6区画のうち5区画の企業進出が内定しておりますので、積極的な企業訪問を引き続き行い、残る1区画の誘致を進めてまいります。

さらに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどの国際イベントに向け、花と緑のフォトスポットを設置し来訪者を迎えます「花と緑のおもてなし空間創造事業」をスタートいたします。

アナ： 花と緑のフォトスポットは、華やかになりそうですね。三島を訪れた外国人観光客も、きっと心が癒されると思います。次に、2つ目の柱「スマートウエルネスで育む健幸なくらしの実現と夢が高まり未来へ翔（はば）たく教育・文化の推進」には、どのような事業があるのでしょうか。

市長： 第二の柱では、長伏Aグラウンドのダッグアウトの拡張や北上中学校グラウンドの夜間照明設備の更新など、市内スポーツ施設の環境整備のほか、ウォーキング

やノルディックウォーキングの普及啓発に加え、職場におけるスポーツ活動を新たに支援し、企業の「健康経営」につなげるなど、市民の皆様がスポーツを通じて健康と生きがいを実感していただけるよう取り組んでまいります。

また、小学校4校と全中学校のパソコン教室にタブレットパソコンを導入いたしますほか、トイレや空調などの整備を順次進め、教育環境の充実を図っております中、北中学校では2カ年にわたり改築を進めてまいりました南校舎が、この4月から新たな学び舎としてスタートいたしました。

アナ： 3つ目の柱「コミュニティで創る誰にも優しい安全・安心なまちづくりと笑顔あふれる子育て・福祉の充実」では、どのような子育て支援策を盛り込まれたのでしょうか。

市長： 現在、中学3年生までのお子さんを対象としております入院・通院にかかる医療費の完全無料化を、本年10月から高校生相当の年齢まで拡充いたしますほか、待機児童解消に向けた放課後児童クラブの新設など、子育てサポート体制を更に充実してまいります。

また、「富士山火山防災マップ」や「狩野川・大場川洪水ハザードマップ」などを作成し、防災・減災意識の更なる啓発を図りますほか、消防団では第3分団の詰所建替えに向けた用地取得や第1分団の消防ポンプ車の更新を行うなど防災力を高め、市民の皆様の安心・安全につなげてまいります。

今お話ししました3つの方針に掲げた事業を、チーム三島一丸となって取り組むことで、希望に満ちた新たなステージへ飛躍してまいりたいと考えております。

アナ： ありがとうございました。「花と緑が美しいまち」、「健康で幸せなまち」、「子育てしやすく、災害に強いまち」を目指し、さまざまな事業が盛り込まれていることがよくわかりました。これからも、市長が掲げる「美しく品格のあるまちづくり」、「人もまちも産業までも健康で幸せなまちづくり」を是非期待しております。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。